

豊かな心や創造性を育む

第54回当別町文化祭開催される

ふれあい
かかわりあい

当別町教育委員会
☎ 3-2689



11月1日～3日

公民館
西当別コミセン
開拓郷土館
青少年センター

町文化協会（中野政幸会長）が主催し今年54回目となる当別町文化祭。

町内で活動する87団体が参加し、1,038点の展示と44団体・個人の舞台発表に、期間中約6,300人が訪れました。

発表部門に初参加したアコーディオン演奏を初め、コーラス・ダンス・詩吟などが会場に響き渡りました。

また、パッチワーク・書道・陶芸・生け花など美をきわめた作品がサークル・団体ごとに展示され来場者は鑑賞に浸っていました。

これらの作品は、個人・団体が日頃からの練習や創作に取り組み創造的な芸術、文化活動の集大成として文化祭をより一層盛り上げています。



舞台発表



展示作品



親子一緒に音楽に ふれあう



9/20 白樺コミセン

「パフ・ファミリー」をゲストに迎え「とつとこハム太郎」や「世界に一つだけの花」など20曲を子ども達とグループと一緒に元気に歌ったり踊ったりしていました。時には親の飛び入りも！！

学校の持ち味 音楽で表現

町内小学校と中学校で「音楽のつどい」

10/22 当小体育館



父母らが暖かく見守る中、息のあった合唱や楽器演奏を披露

10/23 公民館



東日本大会金賞受賞の当中吹奏楽部や琴の演奏・合唱など練習の成果を發揮

手づくりときめきフェスティバル

(9月25日 西当別小学校)



全児童が生活科と総合的学習の一環で取り組んだおみこしパレードや出店での魚釣り、お化け屋敷。手作りの竜のおみこしやパレードはフェスティバルを盛り上げ地域や父母参観など、訪れた方を楽しませました。

リングブルをお金代わりにする小物ショップなど、子ども達の主体性・創造性が発揮されました。

国際交流は楽しい？！

(9月5日 弁華別中学校)



看護教育を学ぶため来日しているエジプトの看護師5人が弁中生徒と国際交流。ダンスやグループ交流の英語での一問一答に生徒達の笑いがあふれました。

美しいメロディーに釘づけ！
(9月18日 当別小学校)



芸術鑑賞会に来校した劇団ミュージカルプラザ所属のM・ワンダーランド。「小さい秋見つけた」などの名曲を多様な楽器と美しいボーカルで披露。児童達は本格的な音楽でステージに釘づけとなりました。

学校行事

いろいろ



父母参加で行われたジャンボカボチャの栽培成果発表。

4月から取り組んだテーマは、四角いカボチャ、中身の色が違うカボチャ、デコボコカボチャなど。

14人の児童は「良くお世話をしたで賞」、「色がきれいで賞」などを受賞。「カボチャ研究大賞」には、ダンボール箱で四角カボチャに挑戦し爆発してしまった俺さんが受賞しました。

ぼくのわたしのカボチャはどうなったかな？

(9月30日 東蕙小学校)

教育推進計画策定委員会から

8月に設置した青少年教育部会、社会教育部会、芸術・文化、スポーツ部会の3専門部会で、それぞれ現状や課題、そして具体的施策まで、各分野のテーマをポイント化し、次の計16項目について真剣な協議を進めています。



青少年教育部会

開かれた学校 特色ある学校 基礎、基本の定着
青少年教育 幼児教育
障害児教育 学社融合

社会教育部会

家庭教育 地域教育
成人(一般・女性・障害者・高齢者)教育
図書機能の充実 学社融合

芸術・文化、スポーツ部会

芸術、文化 歴史と伝統 生涯スポーツ
自然体験活動

科学実験



小学4・5年生を対象に開いた科学実験教室。町

魔法使いになれるかな？
(9月27日 医療大学)

教委と医療大の連携事業で行っている、ゆとりっちセミナーの一環。電池を使い火花を発生させる実験や、磁石とロウソクを使い、炎の熱で針金が回転運動をし続ける熱機関などを同大学の磯貝先生が指導しました。科学の力でうまく動く身近な材料に子ども達は不思議そうに見つめていました。